

公益財団法人あいちコミュニティ財団

2018 年度事業報告書

【1】当年度の概要

2018 年度は、2017 年度に表面化した当財団の経営管理上の問題の影響を大きく受け、2018 年 1 月以降、新規の寄付募集及び一部の事業（事業指定プログラム「ミエルカ」、テーマ提案プログラム「エンタク」など）の実施を中止していましたが、2018 年 9 月に「あいち・なごや・つながる基金」を創設するための寄付募集を開始し、再生に向けた着実な努力を始めました。

しかし、年度末に指定寄付金の管理費への流用問題が複数のマスコミから取材を受けることとなり（記事は 2019 年 4 月から 5 月にかけて 3 社掲載）、法人運営上、非常に厳しい事態を迎えました。

このような非常に厳しい状況ではありましたが、当年度に実施することができた事業の結果は、次のとおりです。

当年度に募集した寄付の総額は 5,092 千円となり、このうち公益目的事業に関連する寄付の募集総額は 1,754 千円となりました。

上記と前年度以前に募集した寄付を財源として、前述した「あいち・なごや・つながる基金」の助成対象となった 3 事業に対して総額 1,800 千円の交付決定を行いました。

この 3 事業については、2019 年度の事業実施において伴走支援を行うこととなっております。

各種支援プログラムについては、行政及び企業から受託した 3 つのプログラムを実施し、その結果、8 団体を対象に伴走支援等の提供を行いました。

また、情報の発信・提供については、「あいちコミュニティ財団事業報告書 2017」を発行し、支援先団体の実施した助成事業による成果の発信・共有を図りました。

【2】組織運営に関する事項

1. 概要

当年度は、前年度に表面化した労務、経理等を始めとした経営管理上の課題に対処するため、規程類の整備を始めとした労務、経理等の仕組みの整備とともに事業執行の仕組みの確立を図りました。

2. 評議員会の開催状況

評議員総数：4 月 28 日まで 13 名、4 月 29 日から 6 月 12 日まで 12 名、6 月 13 日から 6 月 27 日まで 13 名、6 月 28 日から 11 月 12 日まで 12 名、11 月 13 日から 3 月 31 日まで 13 名。

開催日	出席	審議事項	報告事項
6 月 13 日	評議員 7 名 理事 3 名	・2017 年度事業報告及び決算 ・役員の報酬等の総額の範囲 ・評議員及び理事及び監事の選任	・2018 年度事業計画及び予算
11 月 7 日	評議員 10 名 理事 3 名	・組織改革委員会の解散 ・ガバナンス委員会設置及びガバナンス委員選任 ・指名・報酬委員会設置及び指名・報酬委員選任	・2018 年度事業計画及び予算 ・あいち・なごや・つながる基金設置

		・評議員選任	
3月18日	評議員9名 理事2名 監事1名	・評議員の辞任及び選任 ・財団の運営	—
3月22日	評議員11名 理事5名 監事2名	・財団の運営	—

3. 理事会の開催状況

理事総数：6月12日まで7名、6月13日から9名。

監事総数：5月22日まで3名、5月23日から6月12日まで2名、6月13日から3名。

開催日	出席	審議事項	報告事項
5月23日	理事6名 監事2名	・評議員会の日時及び場所並びに目的である事項 ・評議員、理事及び監事の選任 ・選考委員2017－2018変更 ・規程類（経理規程、職員自家用車管理規程） ・2017年度事業報告 ・2017年度決算	
6月13日	理事6名 監事1名	・2018年度の常務理事の選定 ・常務理事報酬額の提案 ・決裁権限の設定 ・新役員体制報告の確認	
7月19日	理事7名 監事2名	・賛助会員規程及び募集 ・報告書の公表 ・就業規程	
8月29日	理事7名 監事1名	・常務理事会規則の改正及び理事会運営規則 ・事務局体制 ・理事担当制 ・2018年度予算 ・基金及び事業実施計画	・休眠預金制度
10月23日	理事6名 監事1名	・2018年度予算／資金調達計画 ・評議員会の議題 ・志金マルシェ	・賛助会員加入状況 ・あいち・なごや・つながる基金 ・トヨタ財団「そでてる助成」申請 ・事務局体制 ・全国コミュニティ財団協会ブロック会議

			・理事の担当業務に係る旅費 ・ロゴ
1月28日	理事7名 監事1名	・セクハラ・パワハラ相談窓口の設置 ・選考委員等 ・2019年度事業計画及び収支予算 ・事務局体制と資金調達	・愛知県立ち入り検査 ・ウェブサイト・ロゴ ・全国コミュニティ財団協会ブロック会議 ・コーディネーター研修 ・デンソープロボノプログラム・委託事業価格表 ・豊吉・松本基金 ・糸徳基金 ・休眠預金
2月25日	理事6名 監事1名	・経理担当者の任命 ・財団の継続 ・当面の対応と役割	・財団の現状
2月27日	理事5名 監事2名	・財団の継続	・財団の現状
3月25日	理事6名 監事1名	・2019年度事業計画及び収支予算 ・財団の新体制	・評議員会の報告 ・今後のスケジュール等

【3】事業に関する事項

前年度に引き続き、市民公益活動団体等の組織基盤を強化し、安心できる地域の未来を創造することを目的として、以下の事業を行いました。

1. 公益目的事業

(1) 市民公益活動を行う団体等に仲介・提供するために、必要な資金等の資源を募り、確保する事業

ア. 「事業」への寄付募集

市民公益活動団体からの事業計画を公開し、賛同者を募る事業。

→ 本年度は実施しませんでした。

イ. 「テーマ」への寄付募集（寄付総額 254,082 円）

「プラスソーシャル（寄付の教室）」「あいち・なごや子どもとつくる基金」「あいちの課題深掘りファンド」「ちた型 0～100 歳のまちづくり基金」を統合して、「あいち・なごや・つながる基金」を創設し、新たに賛同者を募り、寄付の受入れを行いました

ウ. 「賛助会員」の募集（受取会費総額 1,265,000 円）

前年度に引き続き、当財団の目的に賛同し、事業運営にご協力いただく「賛助会員」を募集しました。

当年度の賛助会員数は 108 名、賛助会員受取会費の総額は 1,265 千円でした。

エ. 法人運営への寄付募集（寄付総額 2,072,570 円）

上記の寄付及び賛助会員の募集のほかにも、当財団の運営へご協力くださる方の寄付を

受け入れました。

(2) 市民公益活動を行う団体等に対し、助成等を行う事業

ア. 事業指定プログラム「ミエルカ」

市民公益活動団体からの事業計画を公開し、資金を仲介する事業。

→ 本年度は実施しませんでした。

イ. テーマ提案プログラム「エンタク」

マルチステークホルダーによる提案で基金を設置し、賛同者を募る事業。

「プラスソーシャル（寄付の教室）」「あいち・なごや子どもとつくる基金」「あいちの課題深掘りファンド」「ちた型 0～100 歳のまちづくり基金」を統合して、「あいち・なごや・つながる基金」を創設し、次の 3 事業に対する助成金として総額 180 万円の交付決定をしました。

① 難民応援 DAN 養成講座

団体名：NPO 法人名古屋難民支援室

事業内容：難民についての理解を広げ、一人ひとりが自分にできる支援の形を見つけるための「難民について初めて知る講座」を開催。また、講座テキストや内容の開発、ボランティアを育成するための「難民応援 DAN 養成講座」を開催し、継続的な支援体制を整える。

助成金額：900,000 円

② 外国ルーツの若者に対するキャリア教育支援プロジェクト

団体名：一般社団法人 DiVE.tv

事業内容：外国にルーツをもつ 13～18 歳の若者が将来どのような職業につきたいかな等のキャリア観を調べるためのアンケート調査、キャリアについて学ぶ多文化キャンプ、職場見学会、若者の教育に携わる支援者を対象とした多文化教育フェスを開催する。

助成金額：450,000 円

③ 発達障がい等、働く上でのコミュニケーションに生き辛さを抱える人のための「コミュニケーションワークショップ事業」、および、企業等への「発達障がい理解促進事業」

団体名：認定 NPO 法人パンドラの会

事業内容：コミュニケーションに不安を抱えている発達障がいのある人を対象に、「コミュニケーションを楽しく試すワークショップ」を開催するとともに、企業や教育機関等に、大人の発達障がいについて理解を深めてもらうための報告会を開催する。

助成金額：450,000 円

ウ. 冠プログラム「カンムリ」

企業等の寄付による基金を設置する事業

→ 本年度は、従来から設置している「住友理工あったか未来基金」（資金提供元：一般財団法人住友理工あったか基金）について、追加的な寄付の受け入れを行い、事業に対する助成を行いました。

基金名	事業数	助成額
住友理工あったか未来基金	3 事業	700,000 円

「住友理工あったか未来基金」は、住友理工グループが目指す「社会課題への積極的取り組みを通じて社会的価値を生み出し、それとともに企業価値の向上に寄与する」という社会貢献活動の理念から、深刻化する子ども問題解決に取り組む市民公益活動団体 (NPO) をサポートするしくみとして設置されました。基金名には、「すべての子どもがあたりか

な未来を描けるように」という思いが込められています。

本年度は、5事業の応募があり、選考の結果、次の3事業が助成対象となりました。

日付又は期間	内容	会場
9月10日～10月5日	助成事業募集期間	
10月11日	書類選考（5事業→4事業）	住友理工株式会社
10月19日	最終選考会（4事業→3事業）	日本陶磁器センタービル2階
11月～3月	助成事業期間（※ 成果報告会は2019年度に開催）	

① ろう児保護者の手話教室

団体名：認定NPO法人名古屋ろう国際センター

事業内容：ろう児（耳が聞こえない子）の保護者を対象に手話教室を開催し、家庭での手話による会話や情報伝達ができることを目指す。

事業拠点：名古屋市

助成金額：300,000円

② 発達凸凹の子どもを、地域で守り育てよう 子育て中のママに寄り添い、情報マップ作り

団体名：NPO法人こどもサポートクラブ東海

事業内容：犬山市と周辺地域で、発達に凸凹がある子どもたちを育てる保護者に必要な情報（行政・医療・放課後デイ・塾・進学など）を整理し、見える化する。

事業拠点：犬山市

助成金額：200,000円

③ 0歳から体を動かすことの大切さを広げる。～体験学習講座の開催～

団体名：一般社団法人日本疾病予防教育協会

事業内容：健康のために必要な運動の必要性を親子で楽しく知る、体験学習講座を開催する。

事業拠点：名古屋市

助成金額：200,000円

※ 2017年度助成事業について、事業の成果を発信・共有するため、「助成事業報告会」を開催しました。

開催日	報告会名称	事業数	参加者数
5月29日	「住友理工あったか未来基金」 2017年度助成事業報告会	2事業	8名

（3）市民公益活動を支援するために、不動産等の資源を活用する事業

「特定寄付信託」等の開発・販売：「遺贈寄付相談センター」の運営

→ 本年度は実施しませんでした。

（4）前各号に掲げるもののほか、市民公益活動を行う団体等に対し、その経営に必要な資源を提供する事業

ア、「セミナー」「ワークショップ」等の開催：

市民公益活動を行う団体等の経営に資する情報・ノウハウ等を提供するため、参加者を公募してセミナー、ワークショップ等を開催しておりますが、本年度は、「あいち・なご

や・つながる基金」の創設に合わせて、「プロボノ初心者のための NPO 理解講座」を開催しました。

日 時：3 月 16 日（土）13：30～17：00

場 所：日本陶磁器センタービル 3 階 大会議室

講師・ファシリテーター：田中利彦氏（特定非営利活動法人テダス）

参加者：17 名

内 容：

（ア）「NPO ゲーム」をやってみよう！

（イ）「プロボノ」体験談（課題深堀り、資金集め、広報）

（ウ）「あいち・なごや・つながる基金」のプロボノ募集

イ．支援プログラムの実施：

① 豊田市「市民発！ミライ☆チャレンジプロジェクト」の企画・運営（支援先 2 団体）

2016 年度から始まった豊田市の「市民発！ミライ☆チャレンジプロジェクト」の企画・運営を、最終年度となる 2018 年度も受託しました。

当事業は、「誰もが幸せに暮らせる社会を『ミライのフツ』にしていけるため、市民指向の新たな発想で地域や社会の課題解決に挑む市民提案事業を支援」することを目的としたもので、当財団の役割は、多様な市民による事業支援（「ミライサポーター」）と事業実施団体とのコーディネートを始めとした伴走型の事業のブラッシュアップ支援です。

2018 年度は、選考会において採択された 2 事業に対して、ミライサポーターによる支援が行われ、当該支援に携わったミライサポーターは、延べ 24 名でした。

実施日	内 容	参加者数
5 月 13 日	採択事業選考会 OPEN INABU 実行委員会 INABU BASE PROJECT—稲武で「遊ぶ」「働く」を考えて実践する 親子コミュケの会／とよた子育てサークルネットワークの会 コネット 人から人へ伝える子育てに優しい街とよた	
6 月 3 日	集合研修① 自立に向けた課題の整理と目標設定	団体 4 名 ミライサポーター 8 名
6 月 17 日	集合研修② 自立に向けた課題の整理と目標設定	団体 4 名 ミライサポーター 7 名
9 月 23 日	仮想理事会（中間報告会） 支援者を集めるための事業成果の整理	団体 4 名 ミライサポーター 5 名
11 月 11 日	集合研修③ 今年度の最終ゴールの確認とゴールに向けた作業	団体 4 名 ミライサポーター 3 名
2 月 23 日	集合研修④ 今年度の事業の振り返りと成果報告会に向けた作業	団体 4 名 ミライサポーター 1 名
3 月 9 日	成果報告会 今年度支援団体の成果報告と卒業団体の現状報告	45 名

② 「デンソープロボノプログラム」の企画・運営（支援先 3 団体）

2016 年度から始まった株式会社デンソーの「デンソープロボノプログラム」の企画・運営を引き続き受託しました。

デンソープロボノプログラムは、『課題解決』を仕事の定義とする株式会社デンソーの『デンソー流仕事の進め方』で、NPOの課題解決力の向上を目指すプログラムです。

事業内容は、支援先及びプロボノの募集とプロボノによる支援の2つに大別され、さらにプロボノの支援は、課題調査の期間（「課題調査」フェーズ）と解決策（事業計画）検討の期間（「解決策開発」フェーズ）の2段階に分かれます。

第3期となる2018年度は、デンソープロボノとともに3日間の研修に10団体が参加し、解決を目指す社会課題・自団体の取り組みと問題点・今後の課題を明確にする、「プレ」プロボノを開催しました。

この10団体のうち5団体からプロボノ支援の応募があり、最終選考で選ばれた3団体（NPO法人いきもの語り、NPO法人sopa.jp、東海日本語ネットワーク）にデンソープロボノ13名による支援が行われました。

なお、2019年度は、この3団体の助成事業期間（「解決策実行」フェーズ）において、デンソーグループはあとふる基金（※）より助成金が交付されます。

※デンソーグループ社員有志の寄付金を積み立てた基金

また、2017年度にプロボノとともに地域にある社会課題を調査し、その解決策を探った3団体（NPO法人社会復帰支援アウトリーチ、NPO法人アジャスト、一般社団法人DiVE.tv）が助成事業として、2018年度に取り組んだ解決策の成果などを発表する成果報告会を3月23日に開催しました。

デンソー“プレ”プロボノプログラム

日付又は期間	内容	会場
5月11日～6月30日	参加団体・“プレ”プロボノ参加者募集期間	
6月5日	参加団体募集説明会@刈谷	刈谷市民ボランティア活動センター
6月9日	参加団体募集説明会@名古屋	デンソー 名古屋オフィス
6月12日	プロボノ募集説明会	デンソー 本社
7月7日	プレプロボノ研修（1）	デンソー 名古屋オフィス
7月21日	プレプロボノ研修（2）	デンソー 名古屋オフィス
8月5日	プレプロボノ研修（3）	デンソー 名古屋オフィス

デンソープロボノプログラム

日付又は期間	内容	会場
8月5日～8月31日	支援先募集期間	
8月20日～24日	個別相談会	財団事務所
9月16日	最終選考会（プレゼンテーション・5団体→3団体）	デンソー 名古屋オフィス
9月22日	プロボノ事前研修	デンソー 名古屋オフィス
10月～3月	プロボノ支援期間	
10月～1月	「課題調査」フェーズ	
10月6日	キックオフ研修	デンソー 名古屋オフィス
10月20日	調査計画発表会	デンソー 名古屋オフィス
1月20日	調査結果報告会	デンソー 名古屋オフィス
1月～3月	「解決策開発」フェーズ	
2月24日	中間相談会	デンソー 名古屋オフィス

3月23日	助成事業計画発表会	デンソー 名古屋オフィス
-------	-----------	--------------

③ 「ソーシャルビジネス支援プログラム（名古屋地区）」の企画・運営（支援先1団体）

本年度、三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社（MURC）が実施する「ソーシャルビジネス支援プログラム（名古屋地区）」の企画・運営を受託しました。

ソーシャルビジネス支援プログラムは、さまざまな社会課題の解決を目指すソーシャルビジネス事業者を対象に MURC の役職員有志で構成するプロボノチームが、約半年間にわたって事業者に伴走し、社会課題解決のスピードアップとインパクト拡大を目指す「人的支援（プロボノ活動）」を行う独自の社会貢献プログラムです。

ソーシャルビジネス支援プログラム（名古屋地区）

日付又は期間	内容	会場
6月、7月	支援先団体リサーチ	
7月19日、24日	支援先団体ヒアリング（2団体）	MURC 名古屋
7月	支援先団体決定（一般社団法人サステイナブル・サポート）	
8月28日	第1回打ち合わせ	MURC 名古屋
9月25日	第2回打ち合わせ	MURC 名古屋
12月11日	中間報告会	サステイナブル・サポート 「ノックス岐阜」就労支援室
2月18日	成果報告会	MURC 名古屋

（5）市民公益活動を行う団体等及び資源提供者に対するコンサルティング事業

ア. 「フレンドレイザー」等の募集・育成

「フレンドレイザー」は、「（2）ア. 事業指定プログラム『ミエルカ』」において、NPO の“志金”調達を応援するボランティアスタッフですが、本年度は事業がありませんでした。

イ. 課題の深掘りをサポートするボランティア「モグラ」等の募集・育成

「モグラ」は、「（2）イ. テーマ提案プログラム『エンタク』」で助成対象団体が行う調査事業において、団体による課題の深掘りをサポートするボランティアスタッフですが、本年度は事業がありませんでした。

ウ. 助成事業の成果を伝えるボランティア「ツムギスト」の募集・育成

「ツムギスト」は、助成事業の成果を伝えるボランティアですが、本年度は事業がありませんでした。

エ. 寄付つき商品の開発・紹介に取り組むボランティアスタッフ「ママボノ&パパボノ」の募集・育成

「ママボノ&パパボノ」は、「あいち“志金”マルシェ化計画」参加法人の寄付つき商品開発を支援するボランティアですが、本年度は事業がありませんでした。

オ. 他団体との連携

一般社団法人全国コミュニティ財団協会の中部ブロック会議を2回開催しました。

（ア）第1回中部ブロック会議

日 時：11月22日（火）15：00～17：00

場 所：日本陶磁器センタービル2階 第3会議室

出席団体：公益財団法人ふじのくに未来財団（静岡県）

公益財団法人ささえあいのまち創造基金（三重県）

特定非営利活動法人ぎふハチドリ基金（岐阜県、オブザーバー参加）

公益財団法人あいちコミュニティ財団

内 容：現状報告、課題の共有・情報交換

（イ）第2回中部ブロック会議

日 時：2月19日（火）13：30～17：00

場 所：日本陶磁器センタービル2階 第3会議室

出席団体：公益財団法人ふじのくに未来財団（静岡県）

特定非営利活動法人ぎふNPOセンター（岐阜県、オブザーバー参加）

特定非営利活動法人ぎふハチドリ基金（岐阜県、オブザーバー参加）

公益財団法人あいちコミュニティ財団

内 容：

①講演「コミュニティ財団とは何か」

講師：一般社団法人全国コミュニティ財団協会常務理事・事務局長 石原達也氏

（公益財団法人みんなでつくる財団おかやま理事）

②現状報告、課題の共有・情報交換

（6）市民公益活動に係る調査研究、情報収集及び情報発信に関する事業

ア.「ワガコトサロン」の実施

「ワガコトサロン」は、「あいちの課題を『我が事』としてとらえ、明日からのアクションを考えよう！」という理念のもと、県内外でリーダーシップを発揮するゲストに話題提供いただくとともに、参加者同士が交流する場ですが、本年度は開催しませんでした。

イ.「年次報告書」の発行

2017年7月から2018年6月までに実施した助成事業の成果と、その他の2017年度の当財団の事業の成果を発信・共有するため、「あいちコミュニティ財団事業報告書2017」を2018年7月に発行しました。

（7）市民公益活動を推進するための普及・啓発物品、寄附金付物品及び出版物等の販売

市民公益活動を推進するための情報等の普及・啓発を図るべく、出版物を販売しました。当年度の販売及び配布実績は、下表のとおりです。

出版物名	販売及び配布数
“成果志向”の補助・助成金のすすめ	13冊

（8）前各号に掲げる事業のほか、社会を構成する多様な主体が市民公益活動を支え、担う仕組みの検討及び実施に係る事業

ア. 対話集会2018

日 時：6月24日（日）13：30～16：30

場 所：日本陶磁器センタービル4階 多目的ホール

参加者：17名 ＋ 財団役員・スタッフ13名

内 容：

（ア）講演「民から民への基金とNPOの組織基盤強化」

講師：認定特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会代表理事 鶴尾雅隆氏

（イ）グループディスカッション

～みんなで「あいちコミュニティ財団」のこれからを語ろう～

イ. 財団の今年と来年をじっくり語る会

日 時：12月9日（日）13：30～17:00

場 所：日本陶磁器センタービル4階 多目的ホール

参加者：17名 ＋ 財団役員・スタッフ11名

内 容：

（ア）財団から現状と来年度の事業計画についての報告／質疑応答

（イ）コメントと問題提起

（ウ）意見交換：財団からの報告と問題提起を踏まえて

【4】附属明細書

2018年度の事業報告書については、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定される「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、附属明細書は作成しておりません。

以上